

新たな時計遷移を用いた量子センサー ～極低温原子で基礎物理の謎に迫る～

日時：1月23日（木）15：00～16：00
場所：吉田キャンパス北部構内理学5号館 115室

講演者：石山 泰樹（理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻D2）

参加申込：以下の申し込みフォームに必要事項をご登録ください。
<https://forms.gle/GgE7hyugbPcnApoAA>



申込締切：1月21日（火）

＝講演者より＝

レーザーを駆使して数十nKほどの極低温まで冷却される冷却原子系は、その実証以来量子コンピュータ・量子シミュレーション・量子センシング等への応用が活発に研究されてきました。

本講演では、最近私たちが開発に成功したイッテルビウム原子中の新たな狭線幅光学遷移(時計遷移)を活用した量子センサーと、それによる標準模型を超える新奇な相互作用の探索についてお話します。